

<<命を守る！！(外出編)>>

学校や職場や移動中に地震が発生する場合があります。今回はそのようなケースを考えてみましょう。

ある平日の正午、外出中に首都直下の大地震発生！
多くの建物が倒壊、いたるところで火災が発生、広い範囲で交通機関が停止

大変なことが起きたぞ！ 家族は、家は無事だろうか？
さて、どうしよう？



あなたは急いで家に帰りますか？

検索すると、例えば渋谷から大場町まで約 20 km、徒歩で約 4 時間半。

災害時に 1 日で移動できるのは 20 kmといわれているから大丈夫かな？



でも、チョット待って！
国道 246 号線の上の首都高速や二子玉川付近の橋が崩壊
などして、通行止めになっているかもしれませんよ



外出中に首都直下地震が発生したときの 望ましい行動は…

むやみに移動を開始しないが基本です！
安全な場所にとどまることを考えましょう

大地震発生後に道路に人があふれると、消防車や救急車などの活動に支障をきたします
⇒⇒⇒ 「本来なら助かる命を救えない」という事態になります

また、余震による物の落下や火災や集団転倒の危険性も高いです

⇒⇒⇒ 「あなたが危険」な状況になります



外出先で大地震に被災したら…

- その 1 まず**身の安全**を確保しましょう
- その 2 職場や学校や一時滞在施設など、**安全な場所**にしばらくとどまることを考えましょう
- その 3 落ち着いて**正確な情報**の把握に努めましょう
- その 4 駅周辺は混雑しているため、近づかないようにしましょう
- その 5 家族の安否を確認する場合は、あらかじめ決めておいた手段（防災コラム No.2）でお互いに連絡を取り合しましょう
- その 6 帰り道の安全が確認できたら、**安全な方法で帰り**ましょう